

あだちで
み
見つけた

生きものなまえの名前をAIエーアイで判定!はんでい

いきものコレクションアプリで発見!はっけん

い ず かん
生きもの図鑑

はる へん
2023 春編

778人にんのみなさんの撮影・投稿により
「足立区あだちくだけの生きものい図鑑ずかん (春編)はるへん」
が出来できあ上がりました!

どんな生きものが
暮くらしているのでしょうか?

いっしょ さが い
一緒に探しに行きましょう!

コアオハナムグリ

昆虫 コウチュウ目コガネムシ科

1cmほどの大きさで、背中に毛が生えています。キク科植物の花粉を好んで食べます。



キマダラカメムシ

昆虫 カメムシ目カメムシ科

体長2cmを超える大きなカメムシで、背中に鮮やかな黄色の斑点が多数あります。



ハナゲモ (メス)

クモ クモ目カニグモ科

5mmほどの大きさで、花や葉の陰に潜んでいます。花に訪れる虫を捕食します。



モツゴ

魚類 コイ目コイ科

別名「クチボソ」とも呼ばれる淡水魚です。関東では古くから佃煮などで食べられてきました。



ボラ

魚類 ボラ目ボラ科

ボラの幼魚は、冬の間は海で過ごし、春が近づくと大群を作って川を登ります。



ぜつめつきぐしゅ 絶滅危惧種

ミゾゴイ

鳥類 ペリカン目サギ科

ほぼ日本でしか繁殖しない、世界的にも珍しい鳥です。全長50cmほどで、昆虫やミミズなどを食べます。



みんなで 見つけた 生きものたち

2023 春

とく てい がい らい せい ぶつ 特定外来生物

アライゲマ の足跡

哺乳類 食肉目アライゲマ科

北米原産の外来種です。トウキョウサンショウウオなど、希少な在来種を食べてしまうことが問題になっています。



ゴイサギ

鳥類 ペリカン目サギ科

夜行性のサギで、昼間は木陰で休んでおり、夕方から水辺にくりだして魚やカエルを食べます。



スギナ

シダ植物 トクサ目トクサ科

春先に見られる「つくし」は、スギナの一種で、胞子を飛ばす役割をもっています。



ナズナ

種子植物 アブラナ目 アブラナ科

若葉は春の七草の一つ。日本全土の田畑や荒地、道端などに生え、ぺんぺん草の名でも知られます。



ニホンカナヘビ

爬虫類 有鱗目カナヘビ科

公園の草地など日当たりのよい場所によく見られます。クモや昆虫を食べます。



カワニナ科

軟体動物 吸腔目

淡水生の巻貝の仲間、川底の微生物や腐った落ち葉などを食べます。ホタルの幼虫の餌になります。



2022年と2023年の春編を比べてみました！

昨年と比べると、今年はさらに多くの方に生きもの探しに参加いただきました。また、見つけた数、見つかった種類も増えました。足立区の自然をたくさんの方が楽しんでいる様子が伺えます。一方で、元々、日本にはいなかった「外来種」を見つけた数も増えています。外来種が増えると、生態系のバランスが崩れ、農業や自然環境に悪影響を与えることがあるので、今後とも注意深く観察していく必要があります。

たくさん
ふえているね！



参加した人

778人

1.3倍
増加！

584人

見つけた数

9,635件

2.3倍
増加！

4,190件

見つけた種類

1,647種類

1.6倍
増加！

1,013種類

見つけた外来種

1,212件

2.2倍
増加！

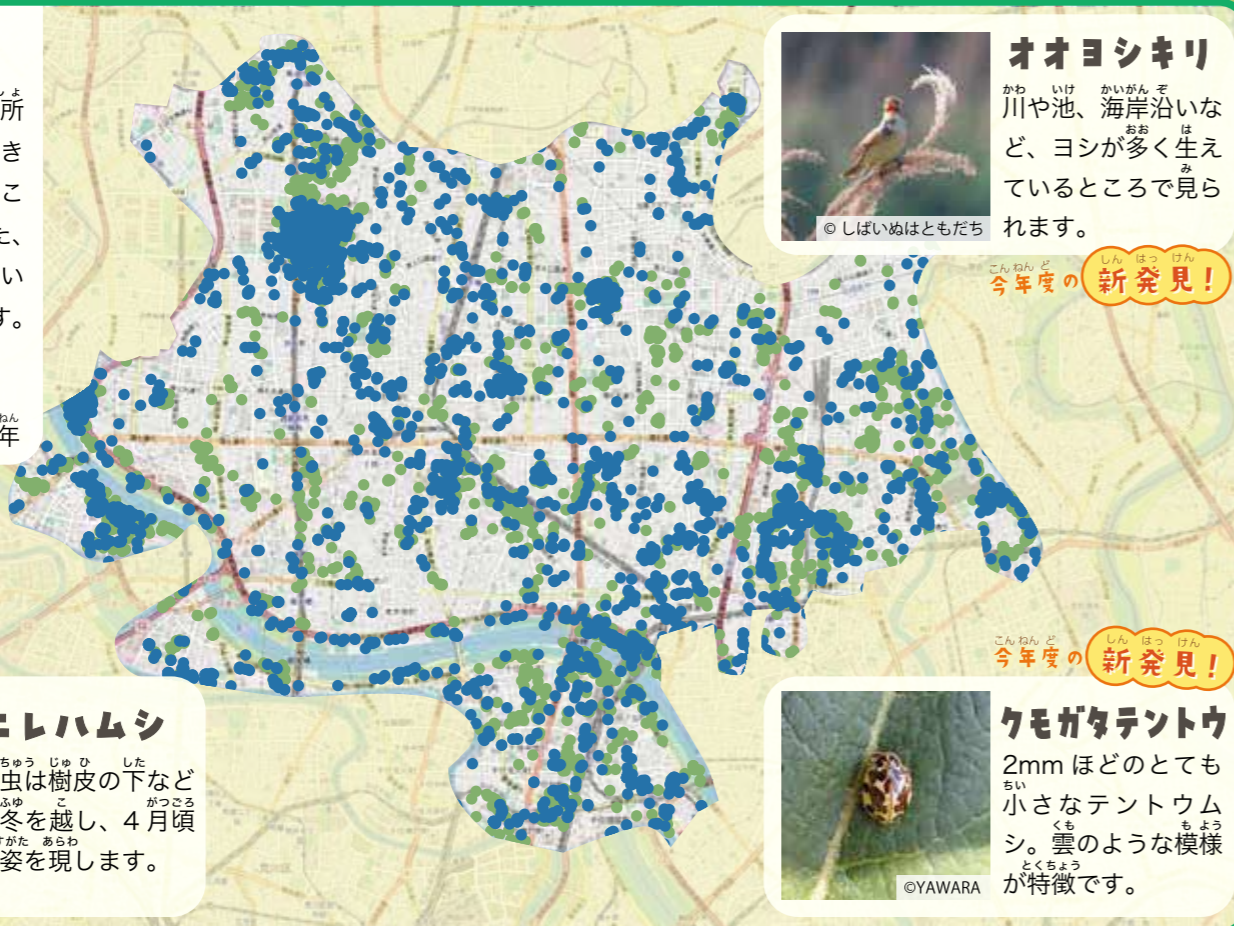
542件

見つけた場所

投稿がたくさんある場所は、足立区でも特に生きものに会いやすいところと言えます。また、昨年にはなかった新しい種の一部を紹介します。

投稿場所の比較

● 2023年 ● 2022年



オオヨシキリ

川や池、海岸沿いなど、ヨシが多く生えているところで見られます。

今年度の新発見！



クモガタテントウ

2mmほどのとても小さなテントウムシ。雲のような模様が特徴です。

今年度の新発見！



ニレハムシ

成虫は樹皮の下などで冬を越し、4月頃に姿を現します。

今年度の新発見！



いいねの多い生きものランキング※



ドバト

鳥類 ハト目ハト科

投稿数・いいね数ともに鳥類ナンバーワンのドバト。写真のように、羽が白いハトもいました。



カルガモ

鳥類 カモ目カモ科

公園の池でよく見られるカルガモも、多くのいいねを集めました。くちばしの先が黄色いことが特徴です。



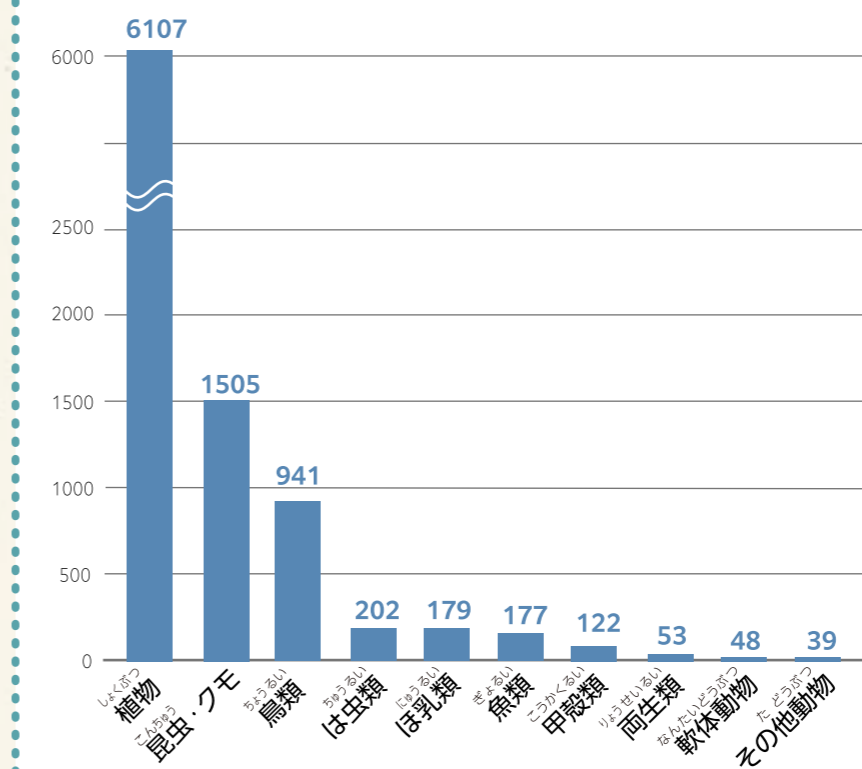
ツバメシジミ

昆虫 チョウ目シジミチョウ科

原っぱで地面近くを飛ぶ小さな白っぽいチョウ。はねの表が青いのがオス、黒いのがメスです。

※「いいね」とは、投稿に他のユーザーが評価をすることです。この集計は種毎の各投稿につけられた「いいね」の合計数の多い順です。

分類群毎の投稿数ランキング



植物	6107件
昆虫・クモ	1505件
鳥類	941件
は虫類	202件
ほ乳類	179件
魚類	177件
甲殻類	122件
両生類	53件
軟体動物	48件
その他動物	39件

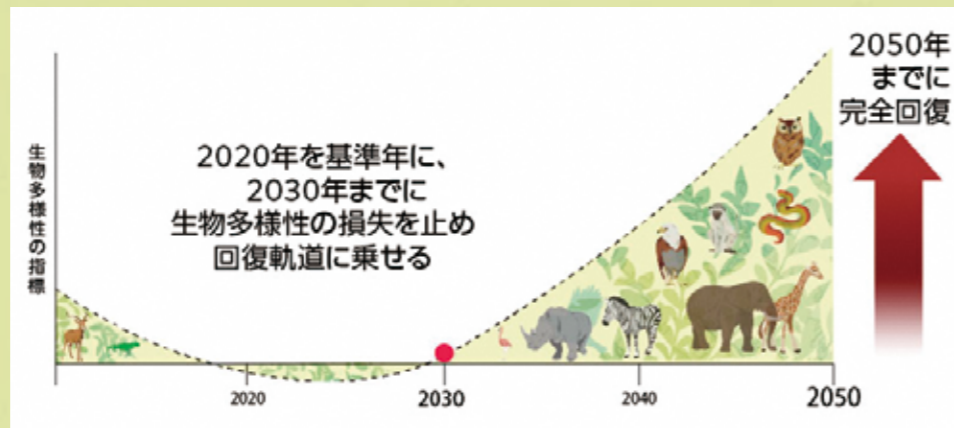
世界中が注目！自然と共に生きる

現在、地球上の生きもののうち、なんと25%が絶滅の危機にさらされていると言われています。この状況を何とかしようとして、世界の国々が動き出しています。ここで、世界の動きを知るために、今おさえておきたいホットな情報を2つ紹介します！

ネイチャーポジティブ



ネイチャーポジティブとは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、2050年に向けて回復させていこうという考え方です。



サーティ バイ サーティ 30by30

30by30 (サーティ・バイ・サーティ) とは、ネイチャーポジティブというゴールに向け、2030年までに陸と海(国土)の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。G7各国が自国の少なくとも同じ割合を保全・保護することについて約束しています。日本では環境省が中心となり、保全地域の認定を行う仕組みが進められています。

「30by30」について詳しくは環境省のページも見てみよう



<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/>



これらの世界的な目標を達成するために、私たちができることは何でしょうか？

まずは身の回りの生きもの達に目を向けることが大切です。

一人ひとりが生きものを見つけて投稿したデータは、大学での研究やSDGsの目標達成など生物多様性の取り組みに役立てられています。例えば、データから「生きものが暮らすために大切な場所」が見えてくれば、保全のために動き出すこともできます。

生きものたちが暮らす公園へ行こう！

公園に行ってみよう！身近な自然をもっと楽しもう！
そこにもきっと、いきものがいる



©はませう

クワコ

▲絹糸をつくるカイコの原種と言われており、ビオトープ公園でのみ見つかりました。

見つけた数 58件
見つけた種類 42種

足立区桑袋ビオトープ公園

足立区桑袋ビオトープ公園は、もともとあった足立の自然の姿を取り戻そうと2005年に桑袋小学校跡地に作られました。多様な生きものたちが自然と集まり暮らしやすい、草地・林地・水辺など様々な特徴を持つ「ビオトープ」になっています。

住所 〒121-0061 東京都足立区花畑 8-2-2

最寄り駅 谷塚駅・六町駅・竹ノ塚駅・綾瀬駅・八潮駅(公園近辺下車バスあり)

営業時間 9時～17時(11月～1月16時30分まで)



ニホンアマガエル

◀野生と思われ、この公園でのみ発見されました。

アスマヒキガエル

▶繁殖地として池や田んぼのような浅い止水環境が必要な種類です。

見つけた数 224件
見つけた種類 139種

足立区都市農業公園

足立区都市農業公園は「自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマに掲げている公園です。園内の田んぼや畑では自然の仕組みを活かした無農薬・無化学肥料での栽培を行っており、水場の生きものが多いのが特徴です。

住所 〒123-0864 足立区鹿浜 2-44-1

最寄り駅 西新井駅・西新井大師西駅「鹿浜都市農業公園行」終点下車

営業時間 9時～17時(6月～9月18時まで)



※見つけた生きもの数、見つかった生きもの種類は公園エリアの投稿から算出したおおよその数です。

夏もいきもの探しを！ 次のページへ

ことし なつ かい さい
今年の夏も開催!

まかん 期間 **7月21日~8月31日**



2021年
 9月発行

なつ へん
夏編



2022年
 6月発行

はる へん
春編



2022年
 10月発行

なつ へん
夏編



れいわ ねん がつはっこう
令和5年7月発行
 はっこう あだち く
発行：足立区
 せいさく あだち く かんきょうせいさく か
制作：足立区環境政策課
 かんしゅう かぶしきがいしゃ
監修：株式会社バイオーム

15 陸の豊かさも
 守ろう

